

令和2年度 第1回社員総会 議案書

1. 日時 令和2年11月25日(水)午後5時00分～
2. 場所 遠隔による会議(メール審議)
3. 出席予定者 会員136名

4. 審議議案 以下の議案について、承認を求めます。

第1号議案 令和元年度決算に関する件

資料1-1「監事監査報告書」、資料1-2「令和元年度 活動計算書」、資料1-3「令和元年度 貸借対照表」、資料1-4「計算書類の注記」、資料1-5「令和元年度 財産目録」、資料1-6「令和元年度の事業報告書」にもとづき説明。

第2号議案 定款第40条の読み替えに関する件

定款第40条上では、残余財産帰属先として学校法人九州国際大学(理事長高野利昭)となっているが、現在の理事長は柴田高博となっているため、定款記載の理事長名を柴田高博に読み替え、今後、登記事項変更の機会があれば、その際に併せて変更を行いたい。

5. 報告事項

5-1. 前回社員総会議事録の確認について

以上

令和2年11月5日

一般社団法人学生キャリアサブリ研究会  
理 事 会 御 中  
社 員 総 会 御 中

一般社団法人学生キャリアサブリ研究会  
監 事 松 本 幸 一



### 監 事 監 査 報 告 書

私、一般社団法人学生キャリアサブリ研究会の監事は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条、並びに一般社団法人学生キャリアサブリ研究会定款第33条に基づき、同法人の令和元年度（令和元年10月1日から令和2年9月30日まで）の業務及び財産の状況について監査いたしました。以下のとおり、ご報告いたします。

#### 記

##### 1. 監査方法

監査の方法は、理事会及び社員総会に出席するほか、理事から業務の報告を聴取するとともに関連書類を閲覧し、あわせて業務及び財産の状況を調査し、計算書類につき検討を加えました。

##### 2. 監査結果

監査の結果、一般社団法人学生キャリアサブリ研究会の業務に関する決定及び執行は適切であり、また活動計算書、貸借対照表の計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、同法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

令和元年度 活動計算書  
 令和元年10月1日から令和2年9月30日まで  
 (法人名称) 一般社団法人学生キャリアサブリ研究会

資料1-2

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費 正会員受取会費	60000	60000	
2. 受取寄附金 受取寄附金	0	0	
3. 受取助成金等 受取民間助成金	0	0	
4. 事業収益 商品売上	671400	671400	
5. その他収益 受取利息 雑収益	3 200	203	
経常収益計			731603
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費 給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費 仕入 減価償却費 商品売上原価 支払利息	0 0 688472 0		
その他経費計	688472		
事業費計		688472	
2. 管理費			
(1) 人件費 給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費 広告宣伝費 通信運搬費 事務用品費 消耗品費 減価償却費 支払手数料 支払利息 寄付金 雑費 棚卸減耗費 雑損失	64740 0 0 9714 0 60667 0 0 0 0 229		
その他経費計	135350		
管理費計		135350	
経常費用計			823822
当期経常増減額			△ 92219
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0	0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 92219
法人税、住民税及び事業税	180900		180900
当期正味財産増減額			△ 273119
前期繰越正味財産額			944898
次期繰越正味財産額			671779

令和元年度 貸借対照表

資料1-3

令和2年9月30日現在

(法人名称) 一般社団法人学生キャリアサブリ研究会

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
普通預金	423782	
現金	0	
棚卸資産	0	
繰越商品	△ 696901	
未収金	0	
流動資産合計		△ 273119
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		△ 273119
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
預り金		
源泉所得税預り金	0	
受取会費(次年度分)	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	944898	
当期正味財産増減額	△ 273119	
正味財産合計		671779
負債及び正味財産合計		671779

1. 重要な会計方針  
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
 評価方法:最終仕入原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- (3) 引当金の計上基準
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
- (5) ボランティアによる役務の提供
- (6) 消費税等の会計処理  
 税込経理処理

2. 会計方針の変更

3. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	事業費	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益				
1. 受取会費			60000	60000
2. 受取寄附金	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0
4. 事業収益	671400	671400	0	671400
5. その他収益	200	200	3	203
経常収益計	671600	671600	60003	731603
II 経常費用				
(1) 人件費				
給料手当	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0
(2) その他経費				
広告宣伝費	0	0	64740	64740
支払手数料	0	0	60667	60667
その他経費計	688472	688472	9943	698415
経常費用計	688472	688472	135350	823822
当期経常増減額		△ 16872	△ 75347	△ 92219

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

6. 用途等が制約された寄附金等の内訳

7. 固定資産の増減内訳

8. 借入金の増減内訳

9. 役員及びその近親者との取引の内容

10. その他法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 現物寄附の評価方法  
 時価評価
- ・ 事業費と管理費の按分方法  
 従事割合等
- ・ 重要な後発事象
- ・ その他の事業に係る資産の状況

令和元年度 財産目録

資料1-5

令和2年9月30日現在

(法人名称) 一般社団法人学生キャリアサプリア研究会

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	60000		
福岡ひびき信用金庫普通預金	611779		
棚卸資産 (キウイレトルトカレー)	0		
未収金			
××事業未収金	0		
流動資産合計		671779	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	なし		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			671779
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
預り金			
源泉所得税預り金	0		
受取会費 (次年度分)	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			671779

## 一般社団法人学生キャリアサブリ研究会

## 1 事業結果

令和元年度において掲げた事業の結果は、以下のとおり（下表の事業項目順に報告）。

## 1-1. 組織体制整備に関する事項

## ①総務系、会計・財務系、広報系各部門の立ち上げ・稼働に関する事項…

上半期については、総務系、会計・財務系、広報系各部門実習のための科目である法政特殊講義 1（月 5 限）を実施した。なお、学生会員に対し、組織管理の指導を行ったが、学生の作業習熟度は未熟なため、総務系、会計・財務系、広報系各部門の立ち上げには至らなかった（総務系作業、会計・財務系作業は、部門分けを行わず実施、また広報系作業は、下記専門演習 A（櫻井ゼミ）で実施）。下半期については、総務系、会計・財務系、広報系各部門実習のための科目である法政特殊講義 2（金 5 限）を実施したが、遠隔授業のため、十分な組織管理の指導ができず、総務系、会計・財務系、広報系各部門の立ち上げには、やはり至らなかった。

②事業展開の準備・実施…上半期は、3 年生向けの専門演習 A（櫻井ゼミ）（金 3 限）の授業で、昨年度下半期に製作した新キウイレトルトカレーの販売および管理を実施した。下半期は、遠隔授業のため、3 年生向けの専門演習 A（櫻井ゼミ）（金 3 限）の授業で、ネットの情報を収集して「北九州の企業調べ」を行い、在学生への就職情報として HP に情報を掲載した。なお、昨年度下半期に製作した新キウイレトルトカレーの在庫は、学内販売により完売した。

③規程整備…上半期末実施。下半期は、法政特殊講義 2（金 5 限）が遠隔授業となったため、規程作成ができず、やはり未実施。

## 1-2. 会員募集に関する事項

①新規採用教員の正会員への勧誘・受入れ…上半期は新規採用教員がないため、実施せず。下半期は 4 名の法学部教員が新規採用されたため、正会員として勧誘・受入れを実施。

②新規学生会員の募集・受入れ…これまで上半期 3 月には、履修登録手続きの際に、K I U ポータルへの募集文書の掲示を通じて、新 2 年生に対する学生会員募集を実施（上記キャリアコース用科目への履修勧誘）してきたが、本年度は新型コロナウイルス問題のため、勧誘活動が実施できず。下半期は、法政特殊講義 2（金 5 限）の履修者のうちから、2 年～過年度生までの 37 名から申込みがあり、受け入れ。法政特殊講義 2 は、本来、2 年生のみの科目だが、新型コロナによる大学閉鎖の影響でそのことが告知できず、また履修変更期間も設けられなかったため、2 年生以上が履修登録し、今回の申込みとなった。下半期の専門演習 A（櫻井ゼミ）では、上半期 12 月の選考段階で 20 名の学生会員（うち 1 名は未入会学生）からの応募があり、選考の結果、15 名の学生会員（うち 1 名は未入会学生）を受け入れた。

③賛助会員募集・受入れ…賛助会員受入れはなし。引き続き、HP を通じて募集中。

## 1-3. 広報に関する事項

①情報発信の企画・実行…上半期 12 月に決算内容を法人 HP に掲載。また、法人 HP の活動日記において、専門演習 A の事業展開の様子について掲載した。下半期は、法人 HP の活動日記において、専門演習 A の事業展開（北九州の企業調べ）について掲載した。

②ホームページ維持管理…イーコムジャパン株式会社を通じて継続的に管理。

## 1-4. 財産管理に関する事項

①会費管理…上半期、会費徴収なし。下半期、4 月（16 名）と 5 月（4 名新入正会員）に会費徴収。

②備品の購入と管理…上半期、下半期ともに、備品については未購入。

③寄付の受付と管理…上下半期、寄付の受け入れなし。

## 1-5. 学生の就業意識に関する事項

①学生の就業能力育成に関する研究の立案と実施（九州国際大学法学部キャリアコース内容の立案と実施）…組織管理および事業展開にかかわる就業意識向上の研究立案は、上半期の法政特殊講義 1・専門演習 A の授業計画策定により実施。上半期、法政特殊講義 1・専門演習 A の 15 回分で、策定された授業計画を修正しながら計画内容を実施した。下半期は、法政特殊講義 2・専門演習 A の授業計画策定により実施。下半期、法政特殊講義 2・専門演習 A の 15 回分で、策定された授業計画を修正しながら計画内容を実施した。

②新規事業展開内容の立案…上半期は、昨年度下半期に製作した新キウイレトルトカレーの販売に注力したため、新規の立案はしなかった。下半期は、専門演習 A において、ネット情報を収集して「北九州の企業調べ」を実施し、その情報を

在学生の就活情報とすることを立案した。

#### 1-6. 学生の就業能力に関する事項

①学生の就業能力育成に関する研究の立案と実施(九州国際大学法学部キャリアコース内容の立案と実施)…組織管理および事業展開にかかわる就業意識向上の研究立案は、上半期の法政特殊講義1・専門演習Aの授業計画策定により実施。上半期、法政特殊講義1・専門演習Aの15回分で、策定された授業計画を修正しながら計画内容を実施した。下半期は、法政特殊講義2・専門演習Aの授業計画策定により実施。下半期、法政特殊講義2・専門演習Aの15回分で、策定された授業計画を修正しながら計画内容を実施した。

②新規事業展開内容の立案…上半期は、昨年度下半期に製作した新キウイレトルトカレーの販売に注力したため、新規の立案はしなかった。下半期は、専門演習Aにおいて、ネット情報を収集して「北九州の企業調べ」を実施し、その情報を在学生の就活情報とすることを立案した。

#### 1-7. 学生の就職活動の支援に関する事項

①九州国際大学キャリア支援室との連携調整…これについては、上下半期末実施。なお、上半期10月に法政特殊講義1の授業内で、九州国際大学地域連携センターと福岡県の連携主催のもと、ベンチャー企業「ユーコネクト株式会社」代表取締役社長佐藤氏に起業にあたっての心構え等の出前講義を実施してもらった。

### 2 事業の実施に関する事項(成果)

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 組織体制整備に関する事項	①②総務系・財務系実習等については「法政特殊講義1」、「法政特殊講義2」で実施し、事業展開は、「専門演習A」で授業計画策定と授業を実施	令和元年10月～令和2年9月	九州国際大学法学部内	4名	学生会員116名
(2) 会員募集に関する事項	①正会員の募集・受入れ ②学生会員の募集・受入れ ③賛助会員の募集・受入れ	令和元年10月～令和2年9月	九州国際大学法学部内	4名	正会員、学生会員136名
(3) 広報に関する事項	①ホームページへの活動日記、決算報告の掲載 ②ホームページ維持管理	令和元年10月～令和2年9月	法人事務所	4名	正会員、学生会員136名
(4) 財産管理に関する事項	①会費徴収	令和元年10月～令和2年9月	法人事務所および事業関連場所	4名	正会員、学生会員136名
(5) 学生の就業意識に関する事項	①②上半期「法政特殊講義1」「専門演習A」、下半期「法政特殊講義2」「専門演習A」で実施	令和元年10月～令和2年9月	九州国際大学法学部内	4名	学生会員116名
(6) 学生の就業能力に関する事項	①②上半期「法政特殊講義1」「専門演習A」、下半期「法政特殊講義2」「専門演習A」で実施	令和元年10月～令和2年9月	九州国際大学法学部内	4名	学生会員116名

以上